

第4回イコロCUP兼全道フットサル選手権大会 2026 U-12 千歳地区予選

開催要項

令和7年11月22日修正

1. 主 催 千歳地区サッカー協会、千歳地区フットサル連盟
2. 共 催・主 管 千歳サッカー協会、千歳地区サッカー協会フットサル委員会
3. 競 技 担 当 千歳地区サッカー協会4種委員会
4. 協 賛 イコロ動物病院
5. 期 日 令和8年1月17日(土)、18(日)
6. 会 場 千歳市スポーツセンター ダイナックスアリーナ 千歳市真町176-2
7. 参 加 資 格
- (1) フットサルチームの場合
 - ① (公財)日本サッカー協会に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。ただし、複数チームで参加する場合は参加チーム内の登録選手に6年生が5名以上いることを条件とする。
 - ② 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (2) サッカーチームの場合
 - ① (公財)日本サッカー協会に「4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。ただし、複数チームで参加する場合は参加チーム内の登録選手に6年生が5名以上いることを条件とする。
 - ② 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (3) 複数チームによる「合同チーム」の本大会参加については、上記(1)又は(2)における参加資格を満たしている場合において認めることとする。ただし、合同チームの複数参加については不可とする。
 - (4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
 - (5) 本大会フットサル登録料を納入していること。(出場する1チームごとの登録料)
 - ① フットサルチームの場合 登録料 2,000円 地区連盟登録料 1,000円 計3,000円
 - ② サッカーチームの場合 登録料 4,000円 地区連盟登録料 1,000円 計5,000円大会参加申込時に登録受付完了と認める。
 - (6) **当該年度の(一社)北海道フットサル連盟に加盟したチーム。(HFFのフットサル年間加盟登録料3,000円の振込完了を以って加盟したチームとする。**
8. 大会形式
- (1) 1グループ3チームとして、2グループで1次ラウンド(総当たり戦)を行う。
 - (2) 決勝ラウンドは、1次ラウンド各グループの成績上位1位及び各グループの2位のうち成績上位の1チーム、計3チームによる総当たり戦を行う。
 - (3) 一次ラウンド敗退チームによるフェニックス大会を行う。なお、フェニックス大会の詳細については別途定める。
 - (4) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
 - (5) 一次ラウンド及び決勝ラウンドの順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち3、引き1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ① 当該チーム内の対戦成績
 - ② 当該チーム内の得失点差
 - ③ 当該チーム内の総得点数
 - ④ グループ内の総得失点差
 - ⑤ グループ内の総得点数
 - ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告1回1ポイント
 - (イ) 警告2回による退場1回 3ポイント
 - (ウ) 退場1回 3ポイント
 - (エ) 警告1回に続く退場 4ポイント
 - ⑦ PK方式により決定する。
9. 競技規則
- 大会実施年度の「フットサル競技規則」による。
10. 競技会規定
- 以下の項目については、本大会の規定を定める。
- (1) ピッチサイズは原則32m×16mを基本とし、センターサークル半径2.5m、ペナルティーエリア四分円の半径5m、ペナルティーマーク5m、DFKSAFマーク8m、ペナルティーエリア内(DFKSAF)マーク4m、交代ゾーンの長さ4m、タイムキーパーの机の前のエリアはハーフウェーラインの両端からそれぞれ4mとする。
 - (2) 守備競技者のボール等から離れる距離
 - ・ フリーキック: 4m
 - ・ コーナーキック: 4m
 - ・ キックイン: 4m
 - (3) 使用球は、少年用3号ボールとする。
 - (4) 競技者の数
 - ・ 競技者の数: 5名
 - ・ 交代要員の数: 9名以内
 - ・ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数: 2名以内
 - (5) ベンチに入ることのできる人数は、13名以内(交代要員9名以内、役員4名以内)とする。
 - (6) ユニフォーム
 - ① フィールドプレーヤー、ゴールキーパーとともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。

- ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
- ③ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
- ④ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- ⑤ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- ⑥ **ユニフォームにゼッケン(張り番)が必要な場合は、ユニフォームと同色の布に番号と同色の番号を付け、必ず全ての面を縫い合わせたものを使用すること。**
- ⑦ ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- ⑧ **正・副の2色については明確に異なる色とする。**
- ⑨ 前項の場合、主審は両チームの各2組のユニフォームから、シャツ、ショーツおよびソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- ⑩ その他、ユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規程に則る。

(7) 靴

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が飴色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない)。ただし、**ノンマーキングシューズは靴底が着色されたものでも施設が許可をしている場合は、着用可能とする。**なお、チーム役員にも適用する。

(8) ビブス

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

(9) 試合時間

- ① **一次ラウンド(総当たり戦): 16分間(前後半各8分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。(前半終了から後半開始前まで。)**
- ② **決勝ラウンド(総当たり戦)は、次のとおりとする。**
16分間(前後半各8分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。(前半終了から後半開始前まで。)
- ③ **フェニックス大会(総当たり戦)は、次のとおりとする。**
20分間(前後半各10分間)のランニングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは3分間とする。(前半終了から後半開始前まで。)

(10) **タイムアウトは、決勝ラウンドにおいて適用する。**

- (11) (競技規則第8条に定められている)キックオフの進め方に関し、本大会ではホームチームは存在しないものとして、対戦表の左(上)側に記載されたチームが、第1ピリオドにピッチに向かって左側のベンチに入り、右側のゴールに攻める。

11. 懲罰

- (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
- (2) 本大会の地区予選は、全道フットサル選手権大会2026 U-12の部と懲罰規程上の同一競技会とみなし、地区予選終了時点で未消化の出場停止処分は、全道大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (3) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (5) 前項により出場停止処分を受けたとき、一次ラウンド終了時点で警告の累積が1回のとき、または、地区予選終了時に警告の累積が1回のときに、警告の累積は消滅する。
- (6) 本大会の大会規律委員会は、警告の累計2回による退場処分、及び出場停止処分1試合までの懲罰問題を処理する。
- (7) 大会規律委員会の委員長は、4種委員長とし、委員は副委員長のほか3名以上で構成する。
- (8) その他、本大会の懲罰に関する事項については、大会規律委員会が決定する。

12. 参加申込

- (1) 参加申込書に記載し得る人数は、選手20名、役員4名以内とする。
- (2) 参加申込書は、令和7年12月17日(水)までに4種副委員長宛にE-mailにて送付すること。
E-mail yoshi777kawa@gmail.com
- (3) 参加料 22,000円 (登録費含む)
- (4) **申込締切日以降の参加申込内容の変更については、令和8年1月14日(水)までとする。**
- (5) 参加料は監督会議で受け付ける。

(連絡先)

千歳地区サッカー協会第4種副委員長 吉川公久 宛
TEL 090-1381-8188 E-mail yoshi777kawa@gmail.com

13. 組合せ

- 組合せは、監督会議において抽選決定する。
- (1) 参加チームは、公認フットサル審判員(3級以上資格者1名以上を含む)を1チームにつき2名帯同させること。その氏名・級を審判証を確認のうえ参加申込書に記入すること。
 - (2) 帯同審判員は、大会期間中、審判業務に当たるものとする。
 - (3) 帯同審判員は、役員(監督を含む)と兼ねることはできる。ただし、審判業務を優先しなければならない。

決勝ラウンドに配置する。

令和7年12月19日(金)19:00から 千歳地区サッカー協会事務所において行う。

行わない

優勝、準優勝、第3位チームを表彰する。また、全チーム1名に優秀選手賞を授与する。表彰式並びに閉会式は、決勝ラウンド終了後に試合会場で行う。決勝ラウンドに進出したチームの選手・指導者は出席すること。

- (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
- (2) 選手はスポーツ安全保険または、それに準じた保険に加入していること。

14. 帯同審判員

競技委員

15. マッチウエルフェアオフィサー

16. 監督会議

17. 開会式

18. 表彰及び閉会式

19. 負傷及び事故の責任

20. そ の 他 (3) マッチコーディネーションミーティング
- ① 一次ラウンドでは実施しない。代表者会議終了後、ユニフォーム合わせを実施する。
 - ② 決勝ラウンドでは各試合競技開始時間30分前に本部入り口前ロビーで行う。
 - ③ マッチコーディネーションミーティングは、運営スタッフ、両チームの監督及び審判員(主審は必須)出席のもと以下について行う。
 - (ア) 必要がある場合は選手証のチェックを行う(選手証の提出を求める場合があるので、必ず持参すること)。
 - (イ) 両チームのユニフォーム等の色を決定する。
FP及びGKそれぞれの正副2種類のユニフォーム(パワープレーを行うチームはパワープレー用ユニフォームも含む。)、競技中に着用するビブス(対戦チームのユニフォーム色も考慮し、複数色のビブスの用意があるのが望ましい。)を持参すること。
 - (ウ) タイムスケジュール、出場停止選手、試合前セレモニーの進行内容、モラル、その他通達事項の遵守などについて確認を行う。
- (4) メンバー提出用紙
- メンバー提出用紙は、1次ラウンドは競技開始10分前、決勝ラウンドは競技開始30分前(マッチコーディネーションミーティング後)担当する試合の主審に提出すること。
- (5) 選手証
- 各チームの登録選手は、原則として(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
- 選手証とは、(公財)日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものと示す。
- (6) 本事業にあたっては、以下通知の通りとする。
- 『新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴う今後の HKFA 主催事業について』
(通知) <https://www.hfa-dream.or.jp/information/20230519-02/>
- (7) チームの監督(監督代行を含む)は、監督会議の出席及び各試合ともベンチに入ることを義務付ける。ただし、やむを得ず、監督会議に出席することが出来ない場合又は試合のベンチ入りが出来ない場合は、速やかに千歳地区協会4種委員長に電子メール等により理由及び代理出席者(参加申込書記載の役員から)氏名を届け出ること。
また、当日急遽欠席する場合は、電話・SNS等で千歳地区協会4種委員長に連絡すること。
なお、無断欠席の場合は、原則試合出場を認めないものとする。
- (8) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
- (9) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (10) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- (11) 本開催要項に記載のない事項については、監督会議において調整する。
- (12) 優勝チームは令和8年2月28日・3月1日に十勝地区で開催予定の全道フットサル選手権大会2026 U-12の部への出場を義務づける。
- (13) 組み合わせ決定後に参加を辞退した場合は、すでに支払われた参加料については原則返却しないこととする。